２０２３年度（令和５年度）　自己評価・学校関係者評価報告書

2024 年 3 月 13 日
学校法人　聖公会栄光学園
八　戸　幼　稚　園

１．本園の教育目標　**「のびのび　はつらつ　豊かな心」**

１．キリスト教の信仰に基づく全人的人格形成を目指す。 ２．基本的生活習慣と正しい社会的態度を育成し、健全な心身の基礎を培う。 ３．幼児の心身の調和的発達を図り豊かな情操を養い、道徳性の芽生えを培う。 ４．自然の事象について、興味や関心をもたせ、思考力の芽生えを培う。 ５．人の話を聞く正しい態度を養い、人に分かる言葉を使おうとする意欲を育て、言葉の正しい使い方を身につけるように努める。 ６．伸び伸びとした表現活動をとおして、豊かな感性を育て創造性を養う。

２．本年度重点的に取り組む目標・計画

年間テーマ　**「生き生きと」**	
教員の質向上	・日々の保育に結び付けられるような研修への参加 ・教員同士の情報交換・共有
情報公開	・ホームページの見直しをする ・保護者に伝わりやすい内容となるよう改善する
子育て支援の充実	・未就園児への遊び場提供 ・保護者に教育内容などを伝えていく場とする

３．評価項目の達成及び取り組み状況　（評価基準　A：十分達成　B：達成　C：成果なし）

評価項目	評価	取組状況と成果
教員の質向上	B	・積極的に研修会への参加ができたが、日々の保育に取り入れられていないことが多かったため、教員それぞれの感性で、実践していく必要がある。
情報公開	B	・毎日の情報公開は、保護者からも喜びの声があがっているが、もっと保護者が求めていることを保育に取り入れ公開していく必要がある。
子育て支援の充実	A	・未就園児教室の実施回数を増やした結果、登録する未就園児が増え、また入園につながったことから、成果があった。今後も続けていきたい。

4．総合的な評価結果

評価	理　由
B	年間テーマである「生き生きと」を意識し、教職員一同、子どもたちのために楽しい行事を計画し、提供することができた。研修へ積極的に参加もでき、教員の質の向上もできていたが、教員一人ひとりの感性を生かした保育実践という面では、いまいち成果が見られなかった。来年度は、保育計画の時点で教員の個性が光るような立案を心掛けて保育できるように見直しが必要である。子育て支援に関しては、前年度よりも充実した内容となったため、今後もさらに内容を深めていきたい。

5．今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
立案の工夫	・教員の個性・感性が光るような保育の工夫をする ・持続性のある、創意工夫された遊びを考案し立案する
遊びの提供と展開	・想像力豊かに遊び込める環境設定をする ・園児の様子を観察し、一人ひとりにあった保育展開をする
保護者との連携	・保護者が気兼ねなく相談できる人的環境を保つ ・保護者一人ひとりにも心を配り、支援をする

6．学校関係者の評価

・テーマ「生き生きと」に沿った先生方の指導がうかがわれ、幼児教育の本来あるべき姿が表現されていて、好ましい印象をもった。

・保護者からのアンケートの回答の通り、先生方は大変信頼されていて、子どもたちも生き生きと生活を送っているようで、安心して預けられる幼稚園だと思います。

・少人数であることも強みとして、八戸幼稚園らしい保育をされていて、保護者からの満足度はすごく高いと思います。保護者からの意見の吸い上げも上手で、次年度の保育の充実や、園児数の増加につながっていると実感しています。先生一人一人の個性を活かすことは、先生方もやりがいにつながるのではと思います。行事も保育もフル稼働だと思うので、先生方が無理しすぎない環境であればいいなと思っています。

7．財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されている